

1. 件名：「敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(39)」

2. 日時：令和5年10月23日（月）13時45分～15時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

野田安全管理調査官、海田主任安全審査官、原田安全審査専門職、
大井安全審査専門職、岩崎安全審査官

日本原子力発電株式会社	開発計画室：堀江常務執行役員※	他3名
同	開発計画室：神谷執行役員	他8名
同	発電管理室：	1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

- ・音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
- ・発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・「敦賀発電所2号炉敷地の地形、地質・地質構造敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性」の修正箇所比較表

<本年10月6日提出済>

- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性

7. 確認・伝達事項：

原子力規制庁から、日本原子力発電（株）に対し、以下の事実確認及び伝達をした。

- ・トレンチのスケッチ、写真、拡大写真がそれぞれ異なる日付のものが散見されるが、これらは根拠として妥当なものであると事業者は考えているのか。
- ・スケッチと写真で状況が異なっている場合、スケッチを正とするとのことだが、資料上はいずれも写真が最新の日付となっている。今後、必要に応じて、最新版のスケッチを作成することを検討していることを確認した。
- ・現地調査に向けて現状どのような状態になっているのか次々回の審査会合に写真等を出せるように準備しておくこと。
- ・D-1トレンチ北西法面において、③層を礫率、礫経、堆積構造及び色調によりa～o層に細分化し、j層までK断層による変位・変形が及んでいるとしているが、変位と変形の対象と範囲について確認した。
- ・事業者が原電道路ピットで認定している鉛直変位量について、同じ②層中でほぼ真横に位置する2つの変位量を合算したものを鉛直変位量としている。一方で別の箇所では変位量を合算していなかったりするこの考え方について確認した。
- ・③層の堆積年代について、有識者会合及び補正前の説明の中では、テフラ分析による普通角閃石の屈折率測定や主成分分析を根拠の一つとしていたが、今回の審査資料には当該データは記載されていない。③層の堆積年代を特定する上でテフラ分析は不要と判断したということを確認した。
- ・⑤層の堆積年代の導出として新たに行った調査はOSL分析のみであることを確認した。
- ・他の分析について試料を増やしたりしてないことを確認した。
- ・OSL分析はふげん道路ピットで行っていない理由について、原電道路ピットで行うことで充分であることを確認した。
- ・OSL分析については、今後、必要に応じて追加すること検討していることを確認した。
- ・OSL信号が飽和しており、 150 ± 13.4 kaは参考値であることを確認した。
- ・土壌分析結果による赤色土の年代について、現状の資料では根拠と結論の関係が分かりづらいことを伝達した。
- ・前回会合でのコメントとも重複するが、原電道路ピット～ふげん道路ピット内のK断層の連続性及びふげん道路ピットで確認されているK断層の基盤における連続性について、必要に応じて、既存の資料（断面図等）を用いて説明すること。
- ・本日の説明に限らず、有識者会合やこれまでの審査会合での説明では、もっと多くのデータがあったので、必要に応じて、それらの資料を用いて説明することを伝達した。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁岩崎です。それでは本日、敦賀 2 号炉のK断層の活動性についてのヒアリングの方開始させていただきたいと思います。それでは説明の方日本原燃の方からよろしくお願いします。
0:00:21	はい。衛藤。日本原電の五十嵐ですと、K断層の活動性評価の資料について私の方からご説明。
0:00:28	したいと思います。
0:00:36	資料 2 の説明にに当たりまして、今回説明項目
0:00:42	追加したデータであるOSL年代、
0:00:44	測定と、K断層の連続性分布、
0:00:48	またK断層の活動評価の三つをご説明。
0:00:52	するってことで、お話を進めていきたいと思います。
0:00:59	最初また追加データのであるアノSL。
0:01:02	年代、
0:01:03	測定についてご説明しますと、
0:01:08	資料 2-37 ページをお願いします。
0:01:19	と今回敦賀で用いた
0:01:21	OSL年代測定の測定方法は、PIRIR法の医師である。
0:01:27	PIR200。
0:01:29	IR295 というものを用いました。
0:01:32	この 200 円 290 という数字はですね測定時の加熱温度を示している数字でございます。
0:01:39	適用するにあたって参考とした文献である、イトウ達 20172018、
0:01:45	早崎 2022 についてご紹介します。
0:01:48	最初に、
0:01:49	2-37 ページが、伊東衛藤 20172018 についてです。
0:01:55	こちらの文献では、年代がわかっているテフラに挟まれている地層から、
0:02:01	使用最初行っておりまして、加熱温度を複数の条件で測定しております。
0:02:06	加熱温度が高いとですね、フェーディングと呼ばれる、蓄積したOSL信号が減ってしまうという現象が小さくなるという報告がされています。
0:02:16	文献で報告されている結果としましては、
0:02:20	PIR200 彩 290 法、
0:02:23	の補正なしの年代値が予想されていた年代に最も近くあったと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	報告されています。
0:02:31	しか、従って本文献では、PIR200IR209 情報が信頼できる年代値を検出する最も適していると報告がされております。
0:02:44	次に、林崎 2022 についてですと 2-38 ページをお願いします。
0:02:53	林崎 2022 でも同様にですね、年代が既知のテフラに挟まれている地層から試料採取を行い、
0:03:00	は加熱温度を複数の条件で測定しております。
0:03:05	手法は、低温条件のPIR50IR295 と。
0:03:10	高温条件のPIある 200Ir290 法の 2 種類で比較されておまして、
0:03:17	結果としては、低温条件では、セーリングの影響を受けて、
0:03:21	やられた年代値が予想されている年代値よりはかえって測定されてしまっております。
0:03:28	この整理の影響を受けて、年代値が若く出てしまっているときは、補正をする必要がございます。
0:03:35	この判断の補正の判断の決め手となるのが、
0:03:38	事実days値というものに、
0:03:41	なります。
0:03:42	この 2-38 ページの 2 ポツ目に、
0:03:45	示しておりますけども、
0:03:46	実例土は、このOSL信号の減衰率を示しております、この数値が大きくなってしまうと。
0:03:54	進行が減ってしまうということで、補正をして、
0:03:57	年代値を
0:03:58	求めるという、
0:04:00	ステップが必要となります。
0:04:04	尾田早崎 2022 ですと、高温条件、
0:04:08	ですと、フェーディングの影響を受けることなく、予想される年代値が獲られたとしております。
0:04:15	これら、
0:04:16	二つの文献を参考としまして、敦賀では、PI、PIR200、IR290 法による、OSL年代測定が妥当と。
0:04:25	判断してデータ拡充を行っております。
0:04:28	次に分析した試料採取位置についてご説明します。2-39 ページをお願いします。
0:04:37	サンプリングした試験は全部で四つございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:41	まず、
0:04:42	電話と北西法面です。
0:04:45	紙面中央の。
0:04:48	上段にデイワントレンチの平面図を示しております、
0:04:52	大井、四角で囲っているものが、電話等の直線法面の位置になります。
0:04:59	左に拡大したスケッチを示してございます。
0:05:03	サンプリング地点一つ目は、製造、
0:05:05	DKP大山倉吉テフラ降灰層準付近で採取しております。
0:05:10	北西法面ですと、緑色の丸野麻生。
0:05:14	中ではございまして、
0:05:16	⑦層中の緑点線で示してるものが、DKP降灰層準。
0:05:20	を示しております。その層準の上から採取をしてございます。
0:05:27	二つ目が、K-Tz機械とずらずらハラテフラの降灰層準付近で採取しております。
0:05:34	北西法面では、②と書かれているところ。
0:05:37	⑤遡上分、
0:05:39	となります。
0:05:40	青い点線が、
0:05:42	K-Tz降灰層準を示しております、
0:05:45	層序よりも少しだけ下の地点で採取しております。
0:05:51	三つ目は、美浜テフラ降灰層準付近で採取してございます。
0:05:55	北西法面のスケッチでは、
0:05:57	③と書かれている。
0:05:59	ところでして、丸ごとオカ分としているところですよ。
0:06:03	赤の点線が美浜テフラ降灰層序を示しております。で、
0:06:08	層序にも少し上のところ、ところから採取してございます。
0:06:14	次に、2-40 ページをお願いします。
0:06:21	四つ目にござい、四つ目の資料でございますけども原燃道路ピット東向法面という地点に、
0:06:28	なります。
0:06:29	1 としましては、右の調査位置図、
0:06:33	この中で、青線で囲っている観察面になります。
0:06:37	この時点では、K断層の上載地層を確認している地点でございまして、
0:06:43	その上載地層になります。③層中のD3 層というところからサンプリングをしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:51	Hでいうと、④と書かれた赤い丸のところになります。
0:06:58	OSL年代測定においては、鉱物が十分太陽光 2 個暴露されて、
0:07:04	OSL信号がゼロリセットされてることが、
0:07:06	測定上重要になります。従って、採取地点では、体制構造がしっかりと確認できて、
0:07:13	体積までに太陽光に十分に当たっていると考えられるところで実施しております。
0:07:19	各地点のスケッチでしたり、写真、
0:07:23	については、それぞれのか。
0:07:25	支店の資料に掲載してございます。
0:07:36	続いてと 2-41 ページをお願いします。
0:07:40	9 地点で計測したOSL年代測定の結果を表に示してございます。
0:07:47	①一つ目の、北西法面⑦層中、DKP降灰層準付近から採取したものにつきましては、
0:07:55	Tephraの小礫。
0:07:57	年代が約 5.8 から 5.9 万年前に対して、
0:08:01	OSL年代測定では約 5.7 万年という年代値がやられてございます。
0:08:07	二つ目の、
0:08:08	丸こそ上部K-Tz降灰層準付近。
0:08:12	から採取したものは、テフラの降灰年代が約 9.5 万年に対して、
0:08:17	OSL年代測定が約 10.9 万年前という数値が獲られています。
0:08:22	三つ目の丸こそ株美浜テフラ降灰層準付近から採取したものは、
0:08:28	デフレの年代値約 12.7 万年前。
0:08:31	ですけども、
0:08:32	OSL年代測定では、約 1026 万年前という年代値がられてございます
0:08:38	また有識者会合においてこの美浜テフラの勾配層序の認定に関してコメントを。
0:08:43	でございますが、
0:08:45	今回OSLの結果から、
0:08:47	今までの評価を保障できていると考えております。
0:08:51	四つ目、元年度のピットヒガシ向けの裏面、
0:08:55	の、
0:08:56	③層中のD3 層から採取した。
0:08:59	OSL年代測定の結果ですけども、こちらでは、OSLシンボが飽和しております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:05	03 層の年代値は 13.3 万年よりも古いということが、結果からえられてございます。
0:09:18	OSL、
0:09:20	の
0:09:21	説明に関しては以上です。続きまして、
0:09:24	K断層の分布についてご説明します。
0:09:32	と、前回の第 1001187 回の会合でのコメントとその回答、5 ページの、
0:09:38	甲斐コメントリストと回答骨子に記載してございます。
0:09:46	コメントの趣旨になります。平面的に連続して、
0:09:50	ように見えないようなところ、
0:09:53	等を例に出してちょっとご説明をしていきたいと思えます。
0:09:58	具体的に言うと 2 の、
0:10:00	46 ページをお願いします。
0:10:07	こちらでは案との位置の平面図を示しております、
0:10:11	K断層をオレンジ色で示してございます。
0:10:14	K断層は電話は臍帯に関する調査の過程において、
0:10:19	このトレンチの
0:10:21	西端付近で見つかった断層でございます。
0:10:23	K断層はデイワントレンチの北西法面から、ミナミふげん道路ピットに至る区間において、
0:10:30	連続して認められている断層です。
0:10:34	トレンチ平面図の青線で囲っている地点のスケッチを資料の後ろに載せておりますが、時間の都合上、
0:10:41	検層が 1 件繋がっていないように見えたり、一筆書きでこう示していないようなところですね。
0:10:48	今回は北西法面と、擁壁撤去法面、また原電道路ピットを例に出してご説明します。
0:10:56	2-48 ページをお願いします。
0:11:03	こちらはデイワンと園地北西法面での観察結果になります。
0:11:07	観察面の位置は、左上の調査位置図に枠で囲っているところになります。
0:11:13	K断層を確認している。
0:11:15	奥丹野。
0:11:16	規定になります。
0:11:18	赤色で示されているK断層は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:21	出野通り直線法面付近の②層と③その境界に逆断層変位を与えている様子が確認できます。
0:11:30	K断層は、この②層と③層の堆積物中を枝分かれして分布しておりますが、
0:11:36	同じ姿勢で接近して分布していたりですね、逆断層センスで、
0:11:41	宗層境界をともにずらしているような特徴があることから、一つの形断層が5堆積物中に枝分かれして分布していると判断しております。
0:11:54	続きまして、2-72ページをお願いします。
0:12:04	こちら擁壁撤去法面という地点になりまして、
0:12:08	堀江の位置としましては、ちょっと詳細図に、
0:12:12	名称書いておりませんが、いちいちピットから南に進んだ。
0:12:16	地点と、
0:12:17	原電道路ピットの間法面になります。
0:12:22	擁壁的な面においても、K断層は、②層と③層を逆断層センスで変位させている様子が認められております。
0:12:33	また、こちらでも堆積物中を、
0:12:37	通過してることから、K断層、通常に分岐している様子が認められております。
0:12:42	先ほどの北西法面と同様に、
0:12:45	同じ線だ、同じ姿勢のせん断面が近接して、逆断層センスを示しているということから、一つの既存層が、
0:12:54	分岐して堆積物中に、
0:12:56	いると判断をさせていただきます。
0:13:03	続いて、2-74ページをお願いします。
0:13:13	先ほどの擁壁適用例の一つ南側、
0:13:17	原電道路ピット底盤部から、原燃道路ピット東向法面、
0:13:21	原電道路ピット、シマ城町坂部、
0:13:24	原動力と東法面の展開図になります。
0:13:28	赤い線で示しているK断層ですけども、
0:13:32	原電道路ピット底盤で、2層と3層を変位させて、2条に分かれながら、
0:13:37	原電道路ピット東向の明度を連続しております。
0:13:42	寝ろピットシマ城町坂部とふげん道路ピットにおいて、
0:13:45	県警断層が飛んでいるように見えますけども、この時点では、
0:13:50	A03層のD3という地層が、K断層の上載層になってございます。
0:13:56	K断層は③層、Dさんに変位変形を与えておりませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:01	一筆書きで、
0:14:03	エネルギーとして情緒ババを通っているようには見えませんが、
0:14:07	確認されてるK断層、
0:14:09	は同じ姿勢で、逆断層変位を与えているという様子が確認されていることから、K断層が、
0:14:15	繋がっていると判断をしております。
0:14:25	土地で三つでございますけどもK断層の連続性分布に関する説明は以上になります。
0:14:32	続いてK断層の活動性評価。
0:14:35	ご説明をしたいと思います。
0:14:38	と2-98 ページをお願いします。
0:14:48	活動性評価地点の一つ目ですけども、デイワントレンチ北西法面になります。
0:14:57	K断層は、北西法面では、MIS6 以前に体制下、
0:15:02	③層中のスモールM層、
0:15:06	ここですと、測線a。
0:15:09	今日の赤文字でK-Tzと書かれている、少し下にございますけどもこのM層の、
0:15:15	下位の地層である。
0:15:17	スモール系層というものに変位変形を与えておりません。
0:15:21	また、K断層は、都丸さん宗千野。
0:15:24	スモールj層までの地層に変位変形を与えており、
0:15:28	そのj層中の腐植小腐植層や砂礫層の層理は東に傾斜してる様子が認められています。
0:15:36	このj層中の、
0:15:38	腐植層や佐伯層につきましては、次ページ以降に、
0:15:41	詳細な写真を掲載してございますが、
0:15:44	今日は時間の都合上説明は割愛させていただきます
0:15:49	一方で、アノ0 装置。
0:15:51	直上のスモールケースを、
0:15:55	甲斐のスモールj層、傾斜不整合関係で追っておりまして、
0:15:58	その無形ソウノ規定及びその係争中の砂層やはほぼ水平である様子が認められております。
0:16:08	この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:09	スモールJソウノ上のスモールケースについて、有識者会合にて、変位変形を受けたかの判断が難しいとのコメントが、
0:16:18	を受けていたことから、オク方向に掘削をしてございます。
0:16:22	2-103 ページをお願いします。
0:16:30	前の当直制の日における、
0:16:34	高校への掘削範囲、大井、青い太線ですねと、掘削のスケッチを下に示してございます。
0:16:42	その結果、スモール包装。
0:16:45	の分布範囲が狭くなりまして、
0:16:50	スモールJ層とスモール系層との傾斜不整合関係や、
0:16:54	そのケースを規定の水平性がより明確となっております。
0:17:05	東北製造部につきましては、これらのことから、
0:17:11	K断層が美浜テフラ降灰層準が認定されて、
0:17:14	OSLがOSL年代測定結果が 12.6 万。
0:17:19	年である。⑤層下部のより下の、
0:17:22	③層中のスモール系層に、
0:17:25	変位変形をおよんでないことから、
0:17:27	後期更新世以降の活動が認められないと判断してございます。
0:17:34	続いて、2-117 ページをお願いします。
0:17:45	原電道路ピット東向法面における活動性評価結果になります。
0:17:50	原電道路ピットヒガシ抜き法面で認められているK断層は、
0:17:55	②層及び③層中の、
0:17:58	C層まで地層に変位を与えておりますが、
0:18:01	その直上に分布しております③層中のD3層は、
0:18:05	変位変形を受けておりません。
0:18:09	ただ、D3層は下位のC層駄目よな、傾斜不整合関係で接してござい ます。
0:18:14	3層で実施したOSL年代測定結果が、
0:18:18	13.3 万年よりも古いという結果から、
0:18:22	K断層は後期更新世より古い断層であると評価しております。
0:18:30	次のページ、2-118 ページをお願いします。
0:18:36	こちらではですね、さっきの 2-117 ページの右下写真 2 がござい ますけども、
0:18:42	そこでK断層が高シモジョウ町ババに伸びていった先の観察結果にな ります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:51	現在道路ピット東向法面と同様にですね、K断層が、③装置のC層まで地層に変位を与えておりますが、
0:19:00	その上位の地層である、③装置のD3層は、
0:19:04	変位変形を受けていない様子が認められております。
0:19:11	2-119 ページ、次のページをお願いします。
0:19:17	先ほど、
0:19:18	本時点でK断層の上載地層となるD3層について、
0:19:22	OSL年代ソフトの結果、13.3 万年より古いとご説明しましたけども、
0:19:27	このD3層は、デイワントレンチ入口南側法面という法面まで、
0:19:33	連続して分布しております。
0:19:39	その電話取引入口南側法面におきましては、そのD3ソウノ、
0:19:45	乗員 205 層が分布しておりまして、その⑤層からは、美浜テフラが検出されております。
0:19:53	したがいまして、OSL年代測定の結果と、
0:19:57	4トレンチの地層分布からも、K断層は後期更新する古い断層であると評価してございます。
0:20:07	2-127 ページをお願いします。
0:20:13	こちらは、ふげん道路ピット。
0:20:16	での活動性評価になり、活動性評価結果になります。
0:20:20	観察面の位置としましては、調査位置、左上調査 1 に示しておりますけども、
0:20:26	先ほどの原電道路ピット東向法面の反対側の法面になります。
0:20:34	スケッチと、写真からも読み取れ。
0:20:38	汗が、
0:20:41	K断層は、
0:20:42	②層及び③層中の、
0:20:44	C層まで地層に逆断層の変位変形を与えておりますが、
0:20:49	その直上上に分布しております③層中のD3層、
0:20:54	の基底には、
0:20:56	原電道路ピット東向法面同様に、K断層による変位変形はおよんでおらず、
0:21:02	D3層が下位のC層とは明瞭な傾斜不整合関係で接していることが、
0:21:08	観察されております。
0:21:14	活動性評価のまとめとしまして、2-130 ページに、
0:21:20	説明した結果をまとめております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:24	3点ございましたけども、北西法面電話と直接の目の裏面においては、K断層は、
0:21:29	ミヤマテフラ降灰層準が認定されて、
0:21:32	西部年代測定結果が12.6万年である⑤層下部の、
0:21:38	下位層準に位置しております③層中の、
0:21:42	スモール系層に変位変形を与えておらず、
0:21:46	後期更新世以降の活動が認められ、
0:21:48	ないとしています。
0:21:50	続きまして原電道路ピット。
0:21:53	におきましては、
0:21:56	③層のD1層D2層及びD3層はMIS6以前に堆積年相当判断する。
0:22:04	おります。
0:22:05	K断層は少なくとも、
0:22:08	民俗以前に堆積したD3層に、
0:22:11	変位変形を与えてないことが、
0:22:13	下位層との名譽の継承整合関係から確認でき、
0:22:16	デイワントレンチ北西法面における調査結果と同様、後期更新世以降の活動が認められておりません。
0:22:24	制限道路ピットにおいても、
0:22:26	K断層は少なくとも、利息以前に堆積したD3層に変位変形を与えてないことから、
0:22:33	デイワントレンチ奥瀬法面における調査結果と同様、
0:22:37	後期更新世以降の活動が認められないと評価しております。
0:22:41	この3地点、いずれの調査結果においても、K断層は、
0:22:46	将来活動する可能性の断層等ではないと判断しております。
0:22:54	続きまして、2-132ページをお願いします。
0:23:05	もしK断層の分布、
0:23:07	の話に戻ってまいりますけども、
0:23:10	と。
0:23:11	①の2ポツ3ポツに、
0:23:14	分布に関するコメント回答。
0:23:16	における法則。
0:23:22	すいません。衛藤。
0:23:24	資料を差し替えておりますので、
0:23:27	差し替えで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:29	お渡しした資料。
0:23:32	これ、
0:23:37	10月6日、
0:23:39	か。
0:23:48	規制庁イワサキセト10月20日付の資料ですかね。
0:23:56	はい。すいませんそうです。10月20日付の、
0:23:59	資料。
0:24:02	の、
0:24:11	後からすいません3ページ目、右下に-132と書かれている。
0:24:16	ページをお願いします。
0:24:26	こちらへとK断層の活動性評価のまとめを、
0:24:30	もし補足しております、
0:24:32	分布のところですね、コメント回答に、
0:24:36	関しての補足ということで、
0:24:38	2ポツ3ポツ目。
0:24:39	K断層は、
0:24:42	堆積物中にも分布してる断層であることから、
0:24:45	堆積物中では、変位が通常に分散する場合がございます。
0:24:50	このため、決定後後の平面図でも、堆積物中で和気断層が通常に分布してる箇所が複数ございます。
0:24:59	なお、基盤案において、平面的に連続する断層の変位に伴って、
0:25:03	堆積物中では、断層が数条に分岐し、変位が分散されることは、
0:25:08	一般的であり、多くの断層露頭やトレンチ壁面で観察されているほか、
0:25:13	断層模型実験の結果とも整合する様子が認められてございます。
0:25:17	断層模型実験につきましては、
0:25:20	2-104ページに、
0:25:21	文献の、
0:25:23	結果を載せてございます。
0:25:28	また、分岐ではないところ、
0:25:30	トレンチ内ではK断層が、上載地層で追われてる箇所が複数確認されております。
0:25:35	そのトレンチ掘削面の、
0:25:39	シモジョウ町坂分には上載層が残存する、原燃道路ピット等では、
0:25:44	掘削面におけるK断層の分布は不連続となってるような地点がございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:52	こちら、すみません等、
0:25:53	検層の分布に関する補足事項でございます。
0:26:03	町で、追加データであるOSLと検査の分布と、検査の活動性評価に関する説明は以上になります。
0:26:15	規制庁岩崎です。はい、ありがとうございました。
0:26:18	それでは何点か確認させていただきたいと思います。ごめんなさい。まずすみません一応資料の全般についてなんですけど、
0:26:31	トレンチのですね、トレンチとかのスケッチと写真と拡大写真。
0:26:37	それぞれかなり何とかその日付が大分異なるものは散見されて、
0:26:43	いるんですけれども、
0:26:48	あとスケッチでいうと、多分一番、これはしょうがないことかもしれないスケッチが大体一番古い。
0:26:54	日付になっていて、
0:26:55	これ結構バラバラなんですけども、これらはその説明のエビデンスとしては、
0:27:02	ある程度根拠のあるものとして、
0:27:05	説明資料として載せておられるとそういう認識でいいですか。
0:27:17	はい。日本原電の五十嵐ですと。はい。スケッチと写真の日付は、
0:27:22	そうですねと多少、すべて同じ日付ではなっておりますけども、確認して、一番、
0:27:29	最新の写真とスケッチの状況をビジネスとして掲載してございます。
0:27:36	わかりました。すみません。すん。
0:27:41	助Gに関しては、一応書いた人の見方とかもあるので、
0:27:49	ババの我々としては多分、現地で本当にどうなのかっていうのが、
0:27:54	見る必要があると思ってそのために現地調査とかもオカないんですけども、
0:27:59	そのときに、このスケッチのものが本当に見られるのかどうか。
0:28:05	ていうのは、やっぱり大事なことなのかなと思っております。
0:28:10	この後のちょっと現地調査に向けての面談とも関係するんですけども、その現地調査、
0:28:18	向けてですね、今、
0:28:20	現状どんな状態なのかっていうのは、
0:28:23	次回はないですけど次回の審査会合あたりにでも写真等とかを待たせるように、ご準備いただければなと思っておりますが、よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:36	はい。日本原電の五十嵐です。はい。藤。
0:28:39	これもすべて日付をこう、
0:28:42	古くて時間が経って、
0:28:44	いたり、
0:28:45	するので、
0:28:48	この法面の保護自体はやっているんですけども実際に見るときのための作業とかで、
0:28:53	見え方というのはまだ、
0:28:54	現場の状況次第でわからなければあるんですけども、ちょっとこの後、あります現地調査の面談の方でも状況等、詳しくご説明したいと思います。
0:29:05	規制庁岩崎ですはい。よろしく申し上げます。
0:29:10	とりあえず資料全般について何かございますか。どうぞ。
0:29:15	規制庁野田ですけど、今のイワサキからのか、確認で追加でちょっと確認しておきたいのは、
0:29:23	スケッチと写真が、異なっているものの、基本的には御社としては今、回答があった通り、いずれも最新のものですっていうご説明があったんですけど、
0:29:34	例えば、
0:29:36	スケッチと写真で、
0:29:39	何でもいいです例えば、
0:29:43	若干、
0:29:44	評価が異なっている場合は御社はこれは別にその活動性っていうわけじゃなくて、最新のものをせいにするっていうことでいいですか。
0:29:53	例えば、スケッチと写真が、堆積状況が若干異なっているという場合は、スケッチではなくて、最新の情報である写真の方、日付ですけど、
0:30:04	それを整理するっていうそういう考え方でいいですか。
0:30:07	異なってる場合。
0:30:09	それは日付異なってるのはわかるんですけど状況が異なってる場合、どれを最新のものと考えているか確認させてもらっていいですか。
0:30:19	はい。日本原電の五十嵐です。藤。
0:30:23	ちょっと写真が、状況違ってる場合は、写真がその最新の状況しか保存してるデータになりますので、そういう際には、
0:30:32	写真で見えてるものが最新のデータと、
0:30:35	いうふうに判断をします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:38	すいません。本店側から、すいません。補足させてもらってよろしいでしょうか。現在北川でございます。
0:30:48	どうぞお願いします。今お話少しちょっと、ちょっと雑駁スギタとして、
0:30:56	SKETCHとシマペアで同じような日々頃でですねヒラモトとってるつもりでございますが、やはりそこに時間ギャップができてるものを、
0:31:07	見え方がやっぱり異なってくるっていうのがあります。侵食を自然、
0:31:13	自然放棄してますんで、後退したりしますので、堆積面がちょっとずつ後退して見え方違うので山にあります。
0:31:21	やっぱりポイントになりますあくまで地アノスケッチは、地質観察者が、
0:31:28	その見えている露頭のその地質情報をまとめ上げているものでございますので、最新のスケッチがあればそれが一番致死、その時点、我々の最新の、
0:31:43	地質情報をまとめた資料であるという位置付けになるろうかと。
0:31:46	金それよりも多少前後して撮った写真は、あくまで、そのスケッチの見え方を補完する目的で、スケッチご覧いただく方に理解促進するために写真、
0:32:01	セットでついてるっていう情報になるかと思imasので、やはりスケッチの中に、細かに記載されている地質観察結果を、地質情報としては
0:32:11	評価に直結するものとして位置付けられるものと考えております。以上です。
0:32:21	知事小野田ですけど補足ありがとうございました。
0:32:24	今お話があった通り、例えば、日付けでですね、最新のものが、写真ではなくスケッチになってれば、
0:32:35	それでいいのかなと思ってるんですけど。
0:32:37	少なくとも、私が御社から出された、D案トレンチ内のK断層の活動性、この資料を見ている限りでは、基本的にはず。
0:32:48	スケッチと写真があって、どっちの日付が、
0:32:52	新しいかっていうと、写真のものが新しくなっちゃってですね。従って、今、私はそういう子、時系列になってるんで、確認してもらったんですけど。
0:33:05	はい。
0:33:06	おっしゃる通りで、スケッチが最新になってればそれはそれでいいんですけどそういう状況になっていないんで、確認したんであって、あれですかねそれは、今後御社は、最新のスケッチを出される。
0:33:19	ことを考えられてるっていうそういうことですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:22	そういうことを念頭に置いて今、
0:33:25	SKETCH祭祀スケッチを正として見てくれと、いうことをおっしゃられてもちょっとそこを確認させてもらってちょっと意図がわからなかったので、
0:33:34	常に持ってます。はい。
0:33:37	ありがとうございました。北川でございます。
0:33:40	まずスケッチを取った後、やっぱりなるべく状態が良い写真を撮ろうとして、タイムラグができてしまったりしていました。
0:33:51	後程元チー調査のお話をさせていただく折に、現地の状況また紹介あるかと思いますが、
0:34:01	これ、掘削してスケッチとって写真撮ったりしてこの資料に反映しているデータを取得した以降、相当時間が経っておりまして、
0:34:11	観察面はいずれもシートの養生等をやっておりますが、現地調査に向けて今そのシートを剥がして、清掃作業を現地で展開している状況でございます。
0:34:24	そういった清掃の過程ですとね、若干表面を薄く剥ぎ取ったりして見えやすくするなどの行為も今後出てきますので、
0:34:34	これまでとったスケッチと少し状況が変わっていることもあろうかと思えますので、その折は、その際は、スケッチを元ちいで確認していただくために、
0:34:45	再度、最新のものに更新する必要があるものも出てくるかと思えます。
0:34:51	なので、現地調査に向けてどれだけスケッチを再度取り直す必要が出てくるかなと、ちょっと今後の状況次第なんですけど、現地見ていただくときに余りにも、状況が違っているとところは最新のスケッチに更新したいと思っております。
0:35:07	以上になります。
0:35:10	小野田ですけど、補足ありがとうございましたはい。わかりました御社としては基本的には、スケッチを正とする写真というのはその状況を補足するものであるということと、
0:35:22	あとは、今、あまりにも
0:35:26	差否決とってからですねもう10年以上多分経ってますんで、そういったものは、現場の状況等に合わせて、必要に応じて更新をされるということは確認できました。私から以上で、
0:35:43	はい。他、何か。
0:35:45	資料全般的に、
0:35:47	コメントある方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:50	よろしいですか。はい。
0:35:54	それでは次にですね時計断層の活動性についての確認なんですけども、
0:35:59	まず北西法面について
0:36:03	2-88 ページのところですね、
0:36:12	丸さんそうですねあの歴率と、歴系と堆積構造と、
0:36:17	あと色調によって、
0:36:19	AからO層に細分化している、いてですね、活動性の評価にあたってはj層までK断層による変位変形がおよんでいると。
0:36:29	いうふうに評価しているんですけども、
0:36:32	まず変位と変形ですね、ちょっと
0:36:37	対象と範囲がですね、
0:36:40	今の資料上だとちょっとわかりづらくてですね。
0:36:44	その評価は自体が変わっていないのであればその有識者会合時点では、変位の範囲とか変形の範囲っていうのは何か色分けした資料は、
0:36:54	お出しただいたと思うんですけども、そういうものを使って
0:36:59	ご説明して、
0:37:01	行く。
0:37:02	いただくようなこと可能ですか。
0:37:07	日本原電の五十嵐です。
0:37:09	と、
0:37:10	変位がおよんでる範囲。
0:37:14	色分けしてる資料ってのは2-105 ページ。
0:37:22	カラーになりまして、こちら、
0:37:28	イケダ層、
0:37:30	の影響の有無を、
0:37:32	地層の走向傾斜から検討している資料になります。
0:37:38	北西法面、
0:37:40	においてオレンジ色で、
0:37:42	示しております点があき断層の影響を受けていると。
0:37:47	変位変形の影響を受けていると判断している。
0:37:50	地点で、
0:37:51	そこベッショ取得している。
0:37:53	ところで、青井。
0:37:56	プロットしてる地層の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:58	協会、
0:37:59	層理より、仁木つきましては、K断層の影響を受けていないと判断したところから、
0:38:05	データを採取しているものでございます。
0:38:12	次のページ、北法面でも同様に、
0:38:15	影響の
0:38:18	地層から影響の判断して採取して、
0:38:21	きたデータに関しまして、
0:38:23	107、2-107 ページで、その結果を、
0:38:27	シュミットネットに落としたもので検討してございます。
0:38:35	K断層の影響受けたと判断した地層、
0:38:39	スケッチではオレンジ色で示した地層、
0:38:44	ですけども、
0:38:45	そちらについてはK断層の影響を受けて東傾斜してるものが、
0:38:49	多くございます。K断層の影響を受けてないと判断した地層につきましては、
0:38:57	南傾斜ないしは西傾斜、
0:38:59	やる様子が、
0:39:00	市民等からもわかりました。
0:39:03	二つのグループの方向をシュミットネットに落としてオレンジと青色で分けてございますけども、
0:39:09	それぞれの、
0:39:11	プロットした点の最大中心点となっているところのサーバを 20、20、ここにはさみ各約 22 度と記載してございますけども、
0:39:21	地層の、経営者が 20 度程度差がございます。
0:39:27	概ね南北方向を軸として、
0:39:31	逆断層で西側が持ち上がる上昇する方向に改善してる状況が認められるので、
0:39:40	概ね南北走向の宗コマツ系断層が西側隆起の逆断層センスで、
0:39:47	動いて、この周りのオレンジ色の地層を、
0:39:50	に影響を与えていると。
0:39:52	いう状況を、
0:39:54	検討してございます。
0:40:00	このような資料もご用意してございますけども、
0:40:04	先ほどの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:05	K断層の変位変形の範囲につきましては、回答になってございますでしょうか。
0:40:11	規制庁の岩崎です。
0:40:15	これはタイトルは変形範囲の把握って書いてあるんですけど、
0:40:20	変位も変形もおんなじ範囲に、
0:40:23	影響を要望してる。
0:40:25	で、そういうご回答ってことでよろしいですか。
0:40:30	日本原燃の五十嵐ですと、
0:40:32	変位、変位がここまでで変形がこっから先ですってというような仕分けがないのかという質問の趣旨、
0:40:39	そうですそうですそうですどこまでが変形をおよぼした範囲で、
0:40:45	かぶっててもいいんですけどどこまでが変位、
0:40:48	およんでる範囲でっていう、
0:40:50	のは、これ、これで今の、で全部ご説明されたってそういう認識でよろしいですか。
0:40:57	二本木の五十嵐です。ちょっと先ほどの、今 105 ページは、変形まざっているすべて影響を、がどこまでかというような視点で検討してございますので、
0:41:07	変位が、
0:41:09	ここまでで、
0:41:11	こっから先は偏見は、
0:41:13	ジェーソンにつきましては変形が中心と。
0:41:16	いうふうに記載してございますけどもちょっとそちらにつきましては、
0:41:20	と。
0:41:21	持ち帰り整理して、すいません、本店からすいません、補足させていただきます。原電北川でございます。
0:41:28	ただいまのご質問ですけれどもこれまでの例えばですね、今 105 ページとか見ていただけてると思うんですけども、その全体で 104 ページが断層模型実験、
0:41:42	の 1 例を示しております。
0:41:45	これまでの既往研究活断層等のもので企業研究やこのような模型実験に照らしてですね、
0:41:52	当該K断層自体は逆断層センスなんですけど、この逆断層の模型実験費用研究でいきますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:03	基盤の上に溜まっている堆積物の中に、変形分散してあらわれるところが特徴として、かねてから知られているところでございます。
0:42:15	今浦崎さんの方の御所アノ行質問に対しては、この 105 ページで示している、オレンジのドットで示しているところは、
0:42:25	計測値を示しているところでございますが、目視観察の結果も踏まえて、変形変位のおよんでいるゾーンというものを大体、オレンジの領域で認識して、
0:42:38	いわゆる堆積構造が読めるところは、このような箇所、満遍なく計測をして整理したというものになっておりますので、
0:42:48	結果論で言いますと、このオレンジで示しているような範囲にわたって変位変形が共存して、K断層の影響をこれらの数を受けていると。
0:42:59	そういう理解をしております。はい。以上です。
0:43:09	規制庁岩崎ですはい。補足、ありがとうございます。
0:43:15	だから、結局その模型実験を踏まえてその逆断層センスであれば、
0:43:23	基本的に変形が主体となっているので、
0:43:26	このオレンジのところまでは、変位の変形も、
0:43:32	およぼしている。はい。
0:43:34	活動が、変位、変形。
0:43:37	となってこの値須藤まで現れている、すなわちここで言う壁面でいきますとj層まで、
0:43:45	変位変形、いわゆる活動がこの地層までおよんでいるという、
0:43:50	結果でございます。わかりました。なのでその変位と変形はいずれも同じ場所まで影響を与えている。
0:44:00	ということよろしかったですか。
0:44:03	はい。アノへ変位がいわゆるせん断面として認識できるので、
0:44:09	そのせん断面が目視で認識できたのがこのJAの中に入っている。ちょっと
0:44:16	35番37番、28番とかが数字が出る付近に赤い線書いてございますが、こういったところにせん断面や断層面として面構造に意識できている。
0:44:27	このj層自体が、堆積構造を整備すると、やはり変形を受けている、全体この範囲においてですね、オレンジがそういうことなので、
0:44:38	変形がだんだん主体になってせん断面はなかなか認識できなくなるような傾向はあるんですけども、変位と変形が合わさった形で、
0:44:48	観察できているという状況かと思えます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:52	以上です。
0:44:57	規制庁海田です。
0:45:00	まずその 104 ページのこの模型実験もちよつと先ほど岩崎の方から、以前の資料でっていうのもありました。以前この図も、
0:45:11	この写真だけじゃなくてこの上に何か補助線みたいなのが書いてあって、
0:45:16	あの辺この部分が変形ですこういう、
0:45:19	イメージですっていうのも出てたような記憶もあるので、そういうものは示されないのかなっていうところとか、
0:45:29	あと 105 ページも、オレンジのところも、この変形とか、主に変形を受けた地層のプロットだということなんですけれども、
0:45:40	そうであれば例えば、
0:45:44	F層とか、D層とか、E層とか、
0:45:48	プロット打ってないような、
0:45:50	あと、ソウノ、
0:45:52	城城面とか、
0:45:54	こういったところは変形はないと判断してるのかとかこの範囲がちよつとよく、ここはそうなんだ、プロットしてるところはそうなんだろうということなんだと思うんですけど。
0:46:06	この範囲としてどのあたりの範囲を考えているのかっていうのが、
0:46:10	ちよつとこの図からではわかりにくくてこれもまた以前はこの範囲ですとぐるっと囲んだような図が、
0:46:17	見たことあるような記憶もあったりして、
0:46:20	その辺りがちよつとこの図では、読み取れないので、どうでしょうかっていう、
0:46:26	そういったところもちよつと確認させていただいてるんですけれども、いかがですか。
0:46:32	はい。現在北川でございます。甲斐さんありがとうございます。
0:46:37	まず
0:46:39	この地質観察の中から、変形が 1 度ってないってなかなかいわゆる堆積構造が相対的に対比できないと、なかなか変形。
0:46:52	してるなんていうことなかなか良い判定できない実態でございます、この今、患者さんの言っていたいた 105 ページのAとかBの、この辺はどうなのっていうところに対しては、
0:47:04	正直言って、どこまで変形がおよんでるかって多分

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:09	そこまで分解能ができるようなレイヤーというか材料じゃないと思います。ポイントは、これらは、
0:47:20	この対しいつこの時代までの地層が影響を受けているかっていうところにちょっと、
0:47:27	も、もっばら着目しているところをございまして、そういう意味では、この分散してるせん断面付近に変形とし、それから変位の、
0:47:38	特徴が表れている部分が、ぼやっとですが大体大まかにあって、それはどこの地層までがおよんでいてどこにふたされているかっていうところで活動性の議論としては、
0:47:51	この江藤の中出家アノ層までが変位変形がおよんでいてそれを
0:47:59	形が、スモール継承ですね、が不整合関係で削ってそこには影響がない。そういったことを主体として説明させていただきたく思っております、
0:48:10	この視野範囲の中で、変形がおよん、変形、変位変形がおよんでいる、3位をきちっと明確に示すってことは、
0:48:21	なかなか難しい。
0:48:24	だと思えます。言ってみると計測データでもって分解できる。
0:48:31	ところがこの
0:48:34	堆積構造を測ったポイントが大体、当時はすべてでした。
0:48:40	また削った宮木削ってみてですね、この堆積構造がもう少しまた見え方の範囲が変わったりなんかする可能性はありますが、
0:48:49	このこの壁面では、このような点箇所、いわゆる堆積面が有利とかです、そういったものが画面と見えた範囲なので、
0:49:00	そういったところフクマナカマだ計測して、
0:49:04	このような見える化し、数値として見える化して整理すると、こういう範囲だろうということがシミズネットだとかで、裏付けられて、
0:49:15	見え、改めて見える化されてるというふうな認識で、
0:49:18	なかなか計測できないようなところで変形およんでるようなところだってなかなかちょっと厳しいかなと思って。
0:49:26	ちょっと答えになってますでしょうか。
0:49:29	赤井規制庁甲斐ですわかりました。今現状ここ、今オレンジで示してある範囲んは少なくとも変形なりしてるだろうと。
0:49:39	変形合わして、この図からは、JAを讀んそれがおよんでいるのは、
0:49:46	ジェーソンまでなんだというところを示されようとしているという。
0:49:50	そんなイメージですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:52	はい。おっしゃる通りでございます。
0:50:00	規制庁ノダですけど北川さん補足ありがとうございました趣旨、理解しました私は3点ですねまず1点目、変形の範囲っていうのは、なかなか特定するのが難しいということ。
0:50:11	2点目は、そういったこともあるので御社としては、1の時代まで変位変形がおよんでいるのか、具体的に多分j層なんでしょうね。
0:50:21	活動性評価するにあたっては、上載地層の直下にある、地層、ここに変位変形があるのかないのか、さらに、上載地層に変位変形があるのかということ、
0:50:32	こういう多分具体的j層、こういったところの変位変形に着目されて、してるとし、それはなぜかという、先ほど申し上げたように、変位変形の範囲ってのはなかなかその特定するのが難しいんで、
0:50:46	大まかに見て、
0:50:49	j層、ここに変位変形が
0:50:52	あって、ケースを担い、こういったことを踏まえて御社は活動性評価をされているという、基本的な考え方は私、理解しましたんで、また必要に応じて審査会合で、
0:51:03	議論させていただければと思います。はい、事実確認はできました。ありがとうございます。
0:51:09	室さんすいませんキタムラですけど、1点だけでもちょっとだけ補足させていただきますと、
0:51:14	変な本が見えるせん断面でございますが変形は堆積構造の相対的な比較でもって、認識してるつもりでして、
0:51:25	こういう地層の中で、こここの見えてる地層の中で、そういうラミナーだとか、良い、そういうような堆積構造が、
0:51:35	参照できるところを積極的に計測しすると、計測したデータをWenchuan
0:51:43	評価することによって範囲っていうのが、おぼろげながらですけど大体この範囲っていうのは限定できてるといような認識でございます。
0:51:52	ちょっと補足させてもらいました。ありがとうございます。
0:52:01	規制庁の宇田ですけど補足ありがとうございます。今北川さん言われたのは、先ほどご説明があったのと多分同じかなと私理解していて、具体的にはオレンジのところ、105ページですかね。
0:52:12	オレンジのところ、変位変形を受けた地層、
0:52:16	具体的にはこの各地層の基底面で、走向傾斜図られて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:21	そこで何、もう、
0:52:24	これ直接変形ってのはわかんないんですけどこういった点のデータを集めることによって、
0:52:31	こういったところにも変形がおよんでいる。
0:52:36	こういった規程名、それを、その上も含めて地層かな。
0:52:40	でも変形の変形か変形の影響がおよんでいるっていうことを点を集めて、
0:52:46	1000にして、それを、
0:52:49	これ全体的に見て面で確認してるってそういうことをおっしゃりたかったのか。
0:52:53	ごめんなさいちょっと具合が悪くて、すいません北川です。すいませんちょっと説明が少し飛んじやったのかもしれませんが、
0:53:01	やっぱりこの堆積構造をくまなく取れて、それでこういう整理をしていくと、変形。
0:53:11	しているしてないっていう、二極化される傾向が出てきて、その結果において、ダテンがとれた計測できた範囲で物事がいえる状況になりました。
0:53:23	なので、仮に
0:53:26	今後また清掃を進めていくと、また見え方が変わってきたりして、もっと堆積構造がまたもう少し広範囲に、この場所トダテリさらに先ほどのAとかBとかDとか、
0:53:38	そういったところに仮に堆積構造が読めるような、
0:53:41	場所があればそういうところを計測することによって、またさらにアノす、制度といいますか、範囲が、よりまた限定できてくるっていう可能性があるということをちょっと言いたかった。
0:53:54	よろしいでしょうか。以上です。
0:53:57	規制庁野田ですけど、さらなる法則ありがとうございます。わかりました。はい。とりあえず私からは以上です。
0:54:09	規制庁岩崎です。それは活動性の北西法面について何か、
0:54:16	ほかにも、
0:55:26	規制庁岩崎です。それではですね、すいません。次ちょっと、原電道路ピットの方で、
0:55:35	これはすいませんちょっと素人的な質問だったら恐縮なんですけど、
0:55:41	2-116で、
0:55:46	鉛直変位量を算出してんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:49	これは、
0:55:51	何ていうかおんなじ②層の中ですね、ほぼ真横に位置する変位が、
0:55:56	0.2と0.2であって、
0:55:58	で、
0:55:59	この合計量が0.4としてるんですけど、
0:56:03	すいませんちょっともう、私はちょっとあんまり詳しくなくて恐縮なんですけど。
0:56:07	あんまりこう横にあるものをそのまま足して、
0:56:10	タテの運用ですって言われてもちょっと、
0:56:13	うん。
0:56:14	何か疑問が残ると思いますけど。
0:56:16	これは、
0:56:17	妥当なものであるんですか。
0:56:23	というごめんなさい、どのように考えてこれがこの変位量で妥当と判断してるんですか。
0:56:30	日本原電の五十嵐ですと、
0:56:32	変位量が0.2。
0:56:35	メートルというものの自体はこの、この時点でその
0:56:39	対比される。
0:56:41	そう、そうそう。
0:56:44	対比できる場所の、
0:56:46	高さが0点。
0:56:48	2メートルでしてることございまして、鉛直変位量としては合計で0.4メートルと記載するものにつきましては、
0:56:55	このK断層オク1回、
0:56:56	動いたときに、その
0:56:58	動いた変位がこうウダばかりして連れて行った時、
0:57:01	に今見えてる部分がこの
0:57:03	0.0. 見てるので、
0:57:05	K断層が動いた。
0:57:07	量というふうに言ったときには、
0:57:09	これ、
0:57:10	イセにこう下まで続いて、深さ方向で、
0:57:13	考えてるときに、
0:57:15	5、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:16	実際は0.4メートル大井タケダ上に行った時に、それが枝分かれして、
0:57:20	分かれて見えてきてるので、合計の数字で書いてると。
0:57:25	いうものになります
0:57:31	これ個々別々で二つ動いたのではなくて、
0:57:35	この下に繋がっているとさっき
0:57:37	2-110。
0:57:40	すいません。
0:57:48	新野。
0:57:49	74ですね、原電道路ピット東向法面の
0:57:54	よりちょっと北側に向こうと喜納さん1本になって、
0:57:58	おりますけども副、
0:58:01	深いほうに行くと、寺澤根本は1本で、
0:58:04	それが、
0:58:04	テラサワ動いたときに、
0:58:06	さっきの断層模型実験でもありましたけども上に向かってこう、
0:58:11	断層線断面が小分散していくと。
0:58:16	その分散した先を、この下にノロピットでさっき0.2と0.2メートルという ふうに変位を読んだときに、
0:58:23	実際にK断層が動いた量としては、この時点では合計量を記載するの が妥当と判断しております。
0:58:33	以上です。
0:58:39	規制庁岩崎です。わかりました。模型実験でもだから、一番下は、
0:58:46	1段ずらしてるけど上に行くにつれて、
0:58:50	英語、
0:58:52	少なくなってるから、
0:58:54	戸田をこれした場合には、変位を合計するのが、
0:58:59	模型実験から見ても、
0:59:01	妥当であろうと、したっていう事ですか。
0:59:15	日本原電ナガシマイメージとしてはちょっと。
0:59:18	そういうイメージを私もそういったイメージで回答してたんですがちょっと もっと詳しい回答につきましてちょっと、
0:59:24	すいません、本店の方から少し補足させていただきます北川でございます。
0:59:30	資料のですね、今の場所の情報で、木田まで入れたものが、2-75ペ ージに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:40	ございまして、
0:59:43	これ先ほどの原電道路ピットの法面、
0:59:48	の情報に加えて、
0:59:50	この付近で実施しました、ピッチが、50センチ間隔ですね。
0:59:58	50センチ間隔で打ち込みました分裂のボーリング、15、
1:00:03	それーを合算したあの絵を紹介しており、
1:00:09	それで今ほど岩崎さんの方から話がありまして、上の方で数に分かれているそれで、
1:00:17	その変位、それがトレンチの壁面の③層というところにオレンジで出てるようなところの、Dたになろうかと思えます。
1:00:25	それがこのボーリングの結果でいきますと、せん断構造として、下の基盤のところまでトレースできまして、
1:00:33	基盤のところのギャップ、このボーリングでタカヤエミマツダ 0.5 アノ 5メートル 50センチですかね、このぐらいのものでここのせん断面 4 紀層のところを出てるのが実際 20センチぐらいでしたっけ。そういったもの。
1:00:50	が合算されてこの基盤のギャップに、
1:00:56	なって、逆に基盤のギャップが分散した形で、
1:01:03	少しブロードに広がって、ここのせん断面のの変位として、分散して出て、なので大体、先ほどのところに上で、合算すると 40センチ、
1:01:14	そんなような説明をさせていただきました。
1:01:18	イメージとして模型実験アリマこれの方がトレンチ壁面に直接に対応している資料となっております。以上です。
1:01:34	規制庁海田です。今の説明は、
1:01:39	断面の下の方まで行くと、そういう、
1:01:42	状況が見えましたっていうことで上も、
1:01:45	それーそうなんでしょうっていう、ここの 75 ページの断面はこういった断面が描けているっていうのは、
1:01:53	確認できたんです。
1:01:56	その 116 ページで、0.2 を足して、
1:02:02	変位量としては 0.4 というところ。
1:02:06	についてちょっと、
1:02:08	比較の意味で、
1:02:10	例えば 64 ページとかを見ていただくと、
1:02:20	どこでもいいんですけど、
1:02:24	②層状面っていうところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:27	これは 1.1 メートル以上 1.1 メートル。
1:02:30	ということなんですけど、
1:02:32	この矢印の幅が 1.1。
1:02:37	これも間で分散してるから、
1:02:40	こういったものを足し合わせて、
1:02:43	1.1 以上って言うてるのがこれは二相上面だけを見て、1.11、
1:02:49	言われてるのか。
1:02:52	こういうところと同じような観点でさっきの 116 と、
1:02:56	ゆページのこの 0.0. 20.4 というのを、
1:03:01	これはちょっと今よくわかんないんですけどこの他の。
1:03:05	このさっきの 1-1 ピットの、
1:03:08	評価とかとあったような、
1:03:11	評価の仕方になってるってということなんでしょうかちょっとそこら辺も、
1:03:16	ここも他も分散してるどころ渡してるのかっていうところとか、
1:03:20	教えていただきたいんですけども、よろしいです
1:03:29	はい。
1:03:30	ありがとうございます。本店、
1:03:32	北川です。ちょっと今の海田さんの、
1:03:35	お話踏まえると、まず今引き上げされた、64 ページですかね 2-64 ページ、11 ピットのミナミーモリ弁ですね。
1:03:49	これ、変位基準をどこにとるかというゴトウがまず
1:03:54	今会社に着目していただいたの、②ソウノところの 1.1 メーターと書いてあるところの、
1:04:01	変位基準として引き出した間にあるところにも、少し階段状に変位がポツポツとこう見えてると。
1:04:11	これはじゃあその 1.1 ってところに差し込まれないのかっていう話だと思えますが、
1:04:17	多分、ケースバイケースいろいろ変わってくるかとは思いますがこれ、階段状に落ち込んで見ますと、これねなしになってたりしますよね。
1:04:28	一番上のところのせん断面なんかにその中で、
1:04:34	原因としてせん断面が途切れてしまう。
1:04:36	それともこの二相の中面変位基準でとらえるとこれ大体合算合算というか、
1:04:43	引き出し線から読めるのは 1.1 ということなので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:48	こういう状況であれば、ここでの変位基準で考えるのは 1.1 で、この間の細かいもの合算する必要はないのかなと、いわゆるこれが下のK断層の基盤の中の断裂に繋がっていきますので、
1:05:03	そこの動きに寄ってきた変位っていうのは
1:05:08	2 ソウノ時、2 層と 3 層の境界でとれば 1.1 ということで、
1:05:13	ないのかなと思いました。
1:05:15	先ほど限度ピットのところでの絵でいきますと、
1:05:24	キタノ系断層の延長に繋がっていくそれぞれのものなので、そこは合算してみるのが、評価上はいいのかなというふうに
1:05:36	今、お話を聞きながら思いましたが、
1:05:40	少し感想めいた話にもなっちゃうところもあるんですがそのように見えてる範囲の中での、
1:05:47	その収斂の度合いで、やっぱりいい方がってか評価で合算するしないというのは、
1:05:53	あったのかなというふうに考えますがいかがでしょうか。
1:05:58	甲斐海田です。
1:06:01	ちょっと今そういうふうなお考えだっっていうのはちょっと今、お話を聞いて
1:06:09	そういうふうに今、評価されてる。
1:06:12	ていうところは
1:06:14	お聞きしたんですけどちょっと紙資料とかにも書いてないんで、ちょっと確認させていただきました。はい。
1:06:21	ちょっとその辺が、んな内容としてどうなのかっていうのはまた改めて検討等はし、こちらの方でも、
1:06:29	確認等してみたいと思います。
1:06:32	はい。以上です。
1:06:33	原電北川でございます。ご趣旨理解しましたので私の方も、改めてちょっと見てみましてまた適切なちゃんとした説明できるように、
1:06:43	ちょっと検討しておきます。ありがとうございます
1:06:53	規制庁岩崎ですか。
1:06:56	それでは、他に、原電道路ピットで何か、
1:07:00	あれやっぱ、
1:07:18	わかりました。
1:07:20	続いて、
1:07:21	ふげん道路ピットの方で何か、
1:07:25	確認が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:28	ありますか。
1:07:48	よろしいですか。
1:08:10	よろしいですか。はい。
1:08:12	どうぞ。
1:08:15	うん。言わですねと。続いてですけど、
1:08:20	言わんとレンチ内の地質層序についてちょっと何点か確認させていただきたいんですけど。
1:08:29	まず、
1:08:46	③層の堆積年代についての
1:08:50	堆積年代とその調査結果を2-7ページに、
1:08:56	まとめていただいているんですけども、
1:09:01	医師記者会合とあと補正前の、
1:09:04	当初申請の中での説明ですけども、
1:09:08	これの中だとですねテフラ分析、
1:09:11	として、
1:09:12	普通角閃石のその屈折率の測定とか、
1:09:18	主成分分析、
1:09:19	そして
1:09:21	大体その海上ボーリングの中の、
1:09:25	MIS6。
1:09:28	以前の、その相当対比されますよというご説明をされていたんですけども、今回の審査資料の中だと
1:09:38	③層については、テフラ分析はもう、
1:09:42	やっていない。
1:09:43	いいんですけど、これは
1:09:47	もう、
1:09:48	不要と。
1:09:50	判断されたんで、
1:09:52	そうなのであれば、
1:09:54	学んでいらなくなったの。
1:09:57	かとか、
1:09:59	アノな。
1:10:01	わからないですけどももしかしたらその別の地層と対比されたとか、そういうのがあれば、
1:10:07	何かあれば、御説明御説明というかちょっと確認したい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:11	日本原電の五十嵐です。衛藤。
1:10:14	丸さん宗出野テフラ分析結果とかですけども、
1:10:19	以前の申請書では載せておりましたけども、
1:10:23	具体的に、
1:10:24	他の地層ですね。
1:10:28	K-Tzとか、DKPとかの広域テフラとちゃんと対比されるようなテフラは、
1:10:34	出ていないので、Tephraでこう絶対年代値がこう、ばしっと決まってるような地層、
1:10:40	そういうテフラ分析結果は出ていない。
1:10:43	もしそうでしたら、今回OSL年代測定で、
1:10:48	飽和しておりますけども、10社で様より古いと絶対年代が獲られている。
1:10:53	に加えて、
1:10:54	これまでのテフラ分析だけですと、
1:10:58	5年、
1:10:59	具体的なその年代値がわからなくて、
1:11:04	海上ボーリングで、
1:11:07	テフラ分析をしたMIS6以前の地層と大体同じであろうという、
1:11:11	このぐらいしかちょっと現状の評価結果としては言えないかったところ、
1:11:16	ですので、
1:11:17	代わりとしてOSL年代測定で具体的な数値が出ておりますので、
1:11:23	評価上古いと。
1:11:25	いうだけの地層で、
1:11:26	ございますので今回テフラ分析の結果は載せていないというところになります。
1:11:32	規制庁イワサキアノアノ野瀬でないのは確認してるんですけど、じゃあ、もう、
1:11:38	その
1:11:39	下、普通各成績によるその排除ボーリングとの対比っていうのは、もう03層の年代測定の、
1:11:46	年代、その堆積年代をとする上では、
1:11:50	何かもう使わないとかそういう判断したってそういうことでいいですか。丸さんその年代についてはOSLと、土壌分析
1:12:00	のみで判断しますよ、そうされたということよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:12	日本原電の五十嵐です。はい。そうですね。③層の年代値としては、
1:12:19	ここに2-7ページに載せております。土壌分析、
1:12:24	また今回のOSL年代測定で
1:12:27	MIS6以前に堆積した地層であると。
1:12:30	いうふうに判断してることから、
1:12:32	今回Tephraの結果は載せております。
1:12:35	地域イワサキイセわかりましたありがとうございます。
1:12:54	私、これもあと確認なんですけど、
1:12:58	これ⑤層の年代測定として、
1:13:02	これ新たに行ったのは、OSLの分析だけで、
1:13:09	他の分析、
1:13:11	について資料をふやすとかっていうのは特にしてなくて、
1:13:16	今回の補正で、⑤層の年代測定について、
1:13:20	追加したのは、
1:13:23	OSLだけっていう認識でいいですか。
1:13:27	現在の五十嵐です。はい。藤。
1:13:29	そうして⑤層、
1:13:31	上部と下部ございますけども、ちょうど下部ともに、OSLで絶対年代値を、
1:13:38	評価として追加してございます。
1:13:40	以上です。
1:13:42	規制庁岩崎ですありがとうございます。ごめんなさい。ちなみに今のその確認はテフラ分析とか特に試料をふやしたりはしてないっていう認識でいいってことですよ。
1:13:52	はい。現在の五十嵐です。そうですね。テフラ分析はこれまでお示していた。
1:13:58	分析課と同じものを掲載してございます。
1:14:01	はい、秋谷矢崎です。わかりましたありがとうございます。
1:14:05	あとは、あとごめんなさい、ちょっと関係するんですけど、OSLの年代測定結果は2-41に、
1:14:14	の、はい。
1:14:15	書いてあるんですけど、これは単に確認というか
1:14:21	北西法面と原電道路ピットでやってて、ふげん道路ピットでやってないですよ。これは何か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:29	青田単純に確認ですけど、理由はあるんですか。何か適さないとかそういう、
1:14:36	日本原電の五十嵐です。衛藤、ふげん道路ピット。
1:14:41	でもその限度ピット反対が何で同じD3層が出て、
1:14:47	いるんですけども、
1:14:52	K断層の上載地層としては、③層中のD3層ってことで、1件、
1:14:58	トレイ、
1:15:02	取る。
1:15:02	例えば、
1:15:04	一旦この評価としては十分ということで、K断層が連続して下から連なって見えてる方の、
1:15:09	原電道路ピット東向のレベルの方から採取しております。
1:15:14	以上です。規制庁岩崎ですわかりました。
1:15:18	あと、北西法面は、
1:15:22	北西法面でその③層でもやられてないのこれは、③草原道路ピットだけで十分。
1:15:29	ていうご認識な
1:15:51	日本でも五十嵐です。十分海田データはたくさんあった方がそれは評価としては、
1:15:57	いいと思うんですよね。この表、今回お示ししてます。
1:16:02	資料におきましては、
1:16:05	まずは、K断層が変位変形をおよんでる積もる層の上に、
1:16:10	珪藻があつて、さらにその上の、
1:16:14	従来評価してた美浜テフラがある丸ごと株の年代をこう求めることで評価できると判断しておりますので、
1:16:22	③層中の、
1:16:25	OSL年代測定ではもっと古いですよというところに関しては、現状まだ、
1:16:32	データを、
1:16:34	ない状況でございますけども、本資料では、
1:16:37	⑤曾我部までで十分と判断しております。
1:16:43	きちっとやったけどわかりました。結局その丸三数ちなみに、OSLを
1:16:50	試料採取箇所っていうのはこれ4ヶ所ですすべての
1:16:54	ほかにもやっ。
1:16:55	られてるんですか。
1:17:06	日本原電の五十嵐です。衛藤SL、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:09	最初自体は提案トレンチの中で他でもやっています、
1:17:14	結果が、
1:17:17	データを追加する。
1:17:19	方針で現状動いてる段階ではございま
1:17:22	今後出てくる。
1:17:25	わかりましたので今回の資料非常にあればってなったら、今後出します という、そういうことですかね。
1:17:33	人間の五十嵐です。そうですねホ必要に応じてで、今回のK断層の活 動性評価としましては、この4点で、
1:17:40	経営を抑えている地層の年代を把握してること、
1:17:44	十分と考えておりますけども、今後必要に応じて、
1:17:47	他の時点で、
1:17:48	分析して、種田医長。
1:17:51	必要に応じてお示していく。
1:17:54	ことを考えて、
1:17:55	以上です。
1:17:56	規制庁イワサキスわかりました。一応、ただ、
1:18:00	そうですね。わかります説明はわかりました。
1:18:04	もしあとこのところでもう1点だけ
1:18:09	OSL信号がホアシしているので、
1:18:12	133+-9系よりは、
1:18:16	古いとしてるん。
1:18:18	ですけど、
1:18:20	150は、
1:18:23	これは、
1:18:27	なんかその133より古いから150なのはちょっとよくわかんなかったん ですけど。
1:18:33	日本原電の五十嵐です。この④番ですね。
1:18:37	今、5年大事左、右から三つ目の列で年代値150って出てるんですけ ども、この方は年代といったところ、13.3万で、
1:18:46	この下のピットから持っていた資料で、
1:18:49	のっかり長石を対象に分析してるんですけども、そのかり長石で測れる 年代値の限界が、
1:18:57	133.2まで。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:00	だったんですけども、今回、測定で 550 で出てきてしまっていると。それは図れてない部分の数値になりますので、
1:19:09	飽和しているため、
1:19:11	13.3 万ですよということになります
1:19:15	よろしいでしょうか。以上です。
1:19:24	OSL信号は飽和して、
1:19:27	徹底。
1:19:28	130、133.2 で方する。
1:19:32	けど、分析した結果 150 取ってたからここに 150 と書いてるってそういうこと。
1:19:39	今現在の五十嵐です。はい。その通りでございます。結果、数値上出てきてしまってるんですけども、
1:19:46	通常出てきてるので記載しておりますけども、測定限界としては、こんんその右に書いております、133 であるということになります。
1:19:57	既折衷イワサキイセ等、
1:20:02	ごめんなさい、ちょっとすみません、私の理解が悪くて申し訳ないんですけど、
1:20:06	OSLでやるときは 133 で信号が飽和しますと。
1:20:12	で、
1:20:13	ただやってみたら 150 が出てきたんで、年代値として 150。
1:20:18	と書いてますってそういうことでもいいですか。
1:20:22	はい、おっしゃる通りです。江田医長の計算で、
1:20:25	出てくるので、計算上こう 150 で出てきてしまうと実際にこの
1:20:30	カリ長石を測定したときに飽和する年代が、この 133 あったので、実際、測るところはそこまでで頭打ちの
1:20:39	オクテなった
1:20:41	それは何ていうか、
1:20:45	103、ごめんなさい、133 までしか測れない。
1:20:50	ですよ。
1:20:51	150 で出てきたから 150 にしてますってそういうことですか。信号自体は、
1:20:57	133 で飽和しちゃうんですけど計算したら 150 って出てきたんで。
1:21:01	150 としましたってそういうことですか。
1:21:04	はい。衛藤経産じゃ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:06	カリ長石の等価線量っていった、ため込んでいた線量と年間線量と敦賀で、
1:21:13	一番から出てくる放射線量。
1:21:16	年間どれぐらい出てきてます横尾終わって、
1:21:19	取る、地層が漏れて、光が
1:21:23	堆積して光が届かなくなってからどれぐらい時間が経ってますかっていうのを、
1:21:28	割って計算で求めるんですけども、
1:21:32	逆にそのOSLがどれぐらいため込めたのかっていうのがこの法案演題というところで、
1:21:37	継続のMACCSを、
1:21:40	実際に、
1:21:42	測るんですけども、そ
1:21:45	だ計算で単純計算で出てきた年代値と実際物で、
1:21:50	センシウあててどれぐらいその長石が整理を溜め込めるかというところの方年代の関係で、
1:21:55	飽和したら、
1:21:57	一番古い方は年代を評価します。
1:22:01	いったところになる。
1:22:08	規制庁海田さつき、今の点ちょっと私からも教えていただきたいのが、
1:22:14	さつきカリ長石だったら 133 が法案になりますというような、ちょっとお話だったんですけど、
1:22:23	これじゃ
1:22:25	123 はまた違う鉱物でカリ長石じゃない何か別の鉱物でされてるとい、
1:22:32	そういうことになるんですかね。
1:22:34	元の五十嵐です。すべて対象は係長席なんですけども、
1:22:38	その午後サンプリングした時点で持ってきた資料に対して、
1:22:42	その基今サンプリングした地点の鉱物がどれぐらい。
1:22:46	方年代があるかっていうのをここ、
1:22:49	測定しているので、
1:22:50	これはサンプリング地点ごとに、
1:22:53	その取ってきた鉱物がどれぐらい溜め込めるため込めてるかっていうのが、
1:22:58	ここ。
1:22:59	継続をしているのでそっちがばらけてるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:03	敦賀で今回実施しているOSLの対象は係長席になります
1:23:09	海田磯そうですねだからこれ全部カリ長石でやってて、この 404 資料は法案年代が 133 だったという、そういうことでそこそこさっきの説明わかりました。
1:23:23	150 っていうのは
1:23:25	もう飽和してるんだけど、
1:23:29	本当グラフとか計算上出てきてる。
1:23:32	ものという。
1:23:34	ことで
1:23:36	多分申請書にも 133 の話しか書いてなくて 150 という数字は、
1:23:42	出てはなかったと思うんですね。で、だからこれは、
1:23:48	ここに書いてあるように
1:23:50	133 より古いっていうところはいえるけどこの
1:23:54	150 っていうところは、
1:23:56	参考みたいなものっていうそういうことなんですか。そこら辺がちょっと関係がよくわからなかったんですけど。
1:24:05	現在の五十嵐です。はい。おっしゃる通りで、この 150 床が計算上出てきちゃっていますけども、実はその
1:24:12	続図れる原価が 133 なので、150 かもしれないし、160 かもしれないし、それでも、
1:24:19	140 かもしれない
1:24:21	どれ。
1:24:22	参考値として計算が出てきた数値を記載しております。
1:24:29	海田ですわかりましたちょっとその、※2 の 1 分だということ、今ご説明された通りなんだろうということは想像はつくんですけど、
1:24:39	ちょっとその辺りがよく、
1:24:41	わからなかったん。
1:24:43	ちょっとそうなので、ちょっと
1:24:46	踏み込んでちょっと確認させていただきました。はい。
1:24:51	出野五十嵐です。はい。衛藤。
1:24:53	これここ飽和してるっていうと、
1:24:55	うちの計算方法がどうだかっていうのがあった方が、
1:25:00	この方はしています。
1:25:01	飽和してるから。
1:25:03	133 ですっていう方が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:05	理解はしやすいという。
1:25:06	ふうに1回したので今後の説明においてちょっとその辺も補足したいと思います
1:25:14	次長ノダですけど、今の関連で1点確認したいのは、
1:25:19	年代は、
1:25:22	飽和年代ということで、
1:25:23	この 133.2 ± 8.9 があって、それと、
1:25:31	どういった情報からより古いついていうより古いついていうことを、
1:25:37	最終的な評価結果にしているか確認させてもらっていいですか。
1:25:44	値としては 133.2 ± 8.9 ですよ。これプラス、どういった情報からより古いと本社が。
1:25:51	最終的に、
1:25:53	評価されているか確認させてもらっていいですか。
1:25:57	乾五十嵐です。衛藤。
1:26:00	より古いという点に関しまして、
1:26:03	の方は出ないというのが測定限界の年代。
1:26:06	でありまして、
1:26:07	計算で求めているところ、これは測定限界を無視して、単純計算で、
1:26:12	等価線量を、年間紙で割って出していった年代。
1:26:18	蒲生。
1:26:19	測定限界よりももうちょっと古い年代値を示しておりますのでそこから、
1:26:23	先、どれくらい古いのかってのが実際はわからないと。
1:26:28	ここで、
1:26:30	10、133 よりも古いというふうに評価しております。
1:26:42	規制庁ノダですけど、
1:26:45	そうですか、ケーソン
1:26:47	計算で150が出てるから、古井。
1:26:50	そういうことですか。
1:26:55	御社はそう考えられているっていうのは、
1:26:58	考えられてっていうのを確認したんでは、また私の方でも、少しこういった、
1:27:03	年代測定の
1:27:05	なんすかね。
1:27:08	分析結果の扱いについて確認したいと思い、自分で確認したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:20	規制庁イワサキ
1:27:21	えっと、
1:27:22	あ、ごめんなさいあと最後に、すいません土壌分析について
1:27:27	2-36 ですね。
1:27:30	ユリ酸化鉄の分析結果、
1:27:33	もうお示しいただいてるんですけども、
1:27:36	それぞれ
1:27:39	鑑札番号の 1AからDまでの
1:27:43	仮制度と結晶化指数があると思うんですけど、
1:27:46	これも過去の話で恐縮なんですけど有識者会合だとこの分析結果をです すね
1:27:55	左側のこの、
1:27:57	前島イトウル 2、
1:28:00	なんていうか、対
1:28:02	オカしたっていうかそのプロットした図が、
1:28:04	あったと思うんですけど。
1:28:07	それ、
1:28:08	お示しいただくこと可能です。
1:28:14	現在の五十嵐です。はい。衛藤。
1:28:16	田井アノ殿。
1:28:17	前回の申請書の審査会合資料ではこの図の 1 ですね前島イトウルに、
1:28:23	青い点でこうプロットしてたんですけども、
1:28:25	これはいじめ Tall ですと文献で分析してる土壌がですね石灰岩ですとか 気候も南側の方で、松浦と
1:28:35	母岩の母材も違って気候も違うっていう状況で前提条件が違うところ の、
1:28:41	グラフに対して、敦賀の値をプロットして、古いですというのはちょっと、
1:28:48	そんなに言えないんじゃないかというのを有識者会合のコメントで受け ておりましたので、なので今回は、プロットを外す代わりに、
1:28:56	他の
1:28:57	文献瀬山家ヤギ。
1:28:59	1983 ですとか長塚市末 7 号で、
1:29:03	いろんな地点で実施している遊離酸化鉄分析の結構をお示して、ど れもばらつきあるんですけども、
1:29:13	結晶活性度が 0.1 でも小さくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:17	結晶化指数が大きいと古いという傾向が見られているというのは敦賀でも同じことが、
1:29:24	聞いているので風化が進行していますという、
1:29:28	説明にとどめています。
1:29:31	いうところでございます。
1:29:33	規制庁イワサキでわかりました。だから次\$に行こうとするのはあんまり、
1:29:41	よろしくなかった。
1:29:42	あとはもう、あくまでその、
1:29:45	化粧化指数と活性度の、
1:29:49	関連資料。
1:29:51	として、
1:29:57	示しているにとどめたと、そういうこと。
1:30:02	はい、原電の五十嵐です。はい、おっしゃる通りで、プロとして古いというのはちょっと言い過ぎ。
1:30:09	前提条件そろってるので言いすぎというところがありましたので、
1:30:13	この
1:30:14	傾向として敦賀でも同じ傾向が見えますという資料に、今回変更しているもので、
1:30:19	以上です。
1:30:20	了解です。
1:30:22	ちなみに今前提条件としてと、
1:30:25	他のは、
1:30:26	前島は、前提条件としてって言ってたんすけど、
1:30:30	その他のこの
1:30:32	病ヤギとか、長塚。
1:30:37	敦賀の母岩との関係だと。
1:30:42	これもちょっとまた前提条件が違うものです。それと同じもの。
1:30:49	はい、原電の五十嵐です。当間山井芸ですと、僕はこの底盤とあと、
1:30:55	前期更新世、花崗岩ですけども時代間が違ったりですとか長塚ですと、
1:31:01	段丘堆積部II山レスをサイトウしてるというので、
1:31:05	母材も違いますしちょっと、
1:31:07	機構もですね、風化に関しては機構も結構左右するというような、
1:31:11	コメントも有識者有識者会合でありましたので、
1:31:17	母材も違う、花崗岩という点では、山谷ヤギに関しては、マツオカと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:23	同じですけども、
1:31:25	他二つはちょっと止まってる状況ではあります。
1:31:30	以上です。
1:31:35	規制庁岩崎です。ご説明はわかりました。ありがとうございます。
1:31:42	層序にいつここはどうぞ。
1:31:45	甲斐海田です。今の点、説明は
1:31:49	経緯は
1:31:51	わかったんですけど、
1:31:52	結論で何か赤色どかしたものだ判断した関所クドウってことで、
1:31:59	関所クドウだったら、
1:32:02	じゃあどうなんだってというのは、この資料でいうと、
1:32:06	どこかあるのかちょっと押していただきたいんですけど赤色どだったから、
1:32:12	何かさっきだとちょっと、それで古いという。
1:32:16	どこまで言うのは言い過ぎというような、これ赤色どの範囲にあるか古 いって言うのは言い過ぎってようなのもあったんですけど、この赤色 どところの年代が今、
1:32:27	ちょっとどういうふうに結びつけられてるのかって言うのを、
1:32:31	ちょっと教えていただけてよろしいですか。
1:32:34	はい。エンドウの五十嵐です。はい。衛藤。
1:32:37	私も赤色どかしたから古いってのは言い過ぎてるとこあるんですけども その一つ前に、
1:32:43	⑤層下部が堆積するまでに大きく風化が進行したってというのは、この赤 色増加しているという。
1:32:50	この数値から獲られた文献と同じ敬語があって、
1:32:57	赤色増加しているということは、
1:32:59	③層がご退席した後に、
1:33:03	この赤色とかそれまで、
1:33:05	風化が進行していたというところがいえると、それがこの 2-36 ページ の評価結果になっております。
1:33:18	海田です。今
1:33:22	言われた、
1:33:23	ことというのは、浄化したので、間隙があったってというのが、
1:33:29	2-36 に書いてあるのか。
1:33:35	それは今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:37	もっと前のページにあるということ。
1:33:40	ですからちょっとここですというのを書いてあるところ。
1:33:43	教えていただきたいんですけども。
1:33:47	33 ページですか、2-33 ページ。
1:33:51	ここの小話をされてるのか。
1:33:55	はい。現在五十嵐です。
1:33:57	はい。そうですね等、
1:34:00	大きく風化が進行してる点に関していう点に関しましては、
1:34:05	2-33 ページに、
1:34:06	通路が進行して土壌化するだけの時間が空いてたっということも記載しておりますし、
1:34:13	2-7 ページで、
1:34:15	地質層序表ですね、こちらにも、
1:34:18	藤丸さんさんのところ、
1:34:21	ユリ酸化鉄ですね、大きく風化が進行しているということでほぼこちらに文字カーン管理があったんだろうということ、
1:34:29	記載しております
1:34:30	以上です
1:34:36	はい。海田です。岡山市長。
1:34:39	記載の箇所は、
1:34:41	2-7 ページとか 2-30、
1:34:44	3、
1:34:45	辺りと結びついてるっていうところは
1:34:49	わかりました。
1:34:50	はい。
1:34:57	はい。
1:34:59	規制庁の野田ですけど、今事実確認はできたんですけど、
1:35:04	ごめんなさい、私はそれは、この資料、
1:35:10	説明を受けないとわかんないっすね。
1:35:14	この 33 と 36 の関係が
1:35:23	ただヒアリングなので、事実確認できたんで、
1:35:28	当資料の取り扱いは、
1:35:31	御社にお任せしますけど、まあまあここだけじゃなくてここ以外も、
1:35:41	ですかね。
1:35:46	お互いが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:50	何だろう。
1:35:50	正しい
1:35:53	情報をもとに、審査会合で議論した方が、
1:35:57	手戻りがなくていいんじゃないかなと思ったんで、
1:36:01	とお伝えした消しておきます。
1:36:10	規制庁岩崎です。
1:36:14	地質層序について、その平取ちやえ後層序については、
1:36:19	他何かございますか。
1:36:37	よろしいですか。
1:36:48	はい。すいませんちょっとだんだん時間がなくなってきましたので、
1:36:53	すいません。本店の方からすいません。北川でございます。今ほどいただきました
1:36:59	関所食う土壌のところにつきまして、ちょっと資料構成も、もう一度ちょっと見ましてですね、より丁寧な説明ができるようにちょっと考えてみたいと思います。コメントありがとうございました。以上です。
1:37:15	はい、規制庁岩崎です。はい、わかりましたありがとうございます。どうぞ。原電の齋藤でございますけれども今の蒔田がわあわあの発言にプラスして、これ今日ヒアリングの場でですねいろいろやりとりさせていただきまして、
1:37:29	こちらで書き足りないところとかですね、できるだけ丁寧に書いて提出させていただくようにしたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。
1:37:39	例えばOSLルーでいえば例の方あっちだとか、その測定値の関係だとか、結構わかりにくいところがたくさんあったと思いますので、
1:37:50	規制庁ノダです。基本的には我々が事実確認しているということはその資料中では、
1:37:58	わかってても、確実にしたいということで確認していることと、あとは管内で確認しているということと、大きく二つに大別できるかなと思っていていずれにしても、
1:38:09	その資料中では、
1:38:12	確実なことが、下、
1:38:14	わからないんで確認してますんで、もし事業者の方でそういうことを、そういう受けとめされるのであれば、その審査会合に向けた資料、
1:38:24	どのように準備されるか。はい。これは別に御社だけじゃなくて、他の事業者もそうですけど、各社のお任せしてますんで、たใดずれしても、繰り返しになるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:35	審査会合で、有益かつ建設的な議論をするためには、お互い正しい情報を、
1:38:46	なんだろうな、ノモトにやらやった方がいいかなと思ってますんで、そういう観点で我々は事実確認してますし、そういった趣旨も踏まえて、はい。
1:38:56	審査会合の準備をしていただければと思います
1:38:59	以上です
1:39:08	はい。続いてですけれども前回の審査会合でのコメント回答についてなんですけれども、前回会合でのコメントともちょっと重複する部分があるんですけれども原電道路ピットからふげん道路ピット
1:39:24	内のK断層の連続性、
1:39:27	と
1:39:29	ふげん道路ピットで確認されているそのK断層の深部への連続性、
1:39:34	ちょっとまだよくわからなくてですねと。
1:39:39	例えば、すいません有識者会合だと今あるふげん道路ピットと、
1:39:44	原電道路ピット工なんていうか、かまぼこ状になってる。
1:39:47	ここを多分切った断面とかが多分出されてたと思う。
1:39:51	ていて、あと、今出てる
1:39:54	断面、D湾トレンチの断面でも、
1:39:59	もっと多くの画面が出されていたかと思うんですけども、その基礎の資料を使って、
1:40:06	そのご説明する。
1:40:08	ていうつもりはありますか、それとも、
1:40:11	もう、この資料で、
1:40:13	説明できてるってそういう認識ですか。
1:40:20	現在五十嵐です。藤のトレンチの断面につきましては、
1:40:25	後ろの2-8ページから、
1:40:28	2の、
1:40:30	13ページまで。
1:40:32	6断面載せておりますけどもこちら過去の審査、
1:40:36	斉唱ですね、申請書等審査会合での定めを全部載せているんですけども、ほか、
1:40:44	資料作成上すべて載せておりますが他にない、何か断面があったというあれがあるのであればちょっとそちらを、
1:40:52	どんな駄目だとかちょっと教えていただきたいんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:55	お願いできますでしょうか規制庁海田イシコアノ。
1:40:58	お示しされてるようにAからKまであって、
1:41:04	と欠番がありますよね。多分そこはあるかなと思いますし、以前は、AからJまでっていうのが、
1:41:12	申請以降はこれは一緒なんですけれどもそれ以前はJまで示してあって、
1:41:21	そういった数が支店にあるのであれば、多ければ多いほど、
1:41:27	頭の中で我々も行動どういうふうになってるか、し理解しやすいし、
1:41:33	申請以降ということであればこの水平断面図とかも多分、岩盤中の系統、D湾の水平断面図っていうのも、
1:41:43	あったと思うんですね。そういうのがあれば、平面的にここまで続いているんだっていうのもわかると思うんですけれども。
1:41:52	そういったところを今お話しています。
1:41:56	はい。よろしいですか。はい。ありがとうございます。申請以前ってことは融資最後とかで、
1:42:02	お示ししてた。
1:42:04	断面図とあと、
1:42:06	ですね、K断層の-15メートルで切った岩盤上面での分布の、
1:42:11	とか、
1:42:12	だと思しますのでそちら。
1:42:16	これまでお示した図が、非常に不足している。
1:42:21	そういうことで、
1:42:23	加え、
1:42:26	たいと思います
1:42:30	はい。海田です。それにあたっては多分この、おそらく
1:42:37	断面図の須田笹板井の評価とかも、何とか破砕体は何、こういう破砕谷か、D33とか変わったとか何か、
1:42:48	そういった話も半年ぐらいに、前にあったような、
1:42:53	気もしますので全く前のものを持ってきたら、
1:42:57	いいかというところでもないかもしれない、その辺、改めて
1:43:02	何て言うか作業がすごい発生するんであれば、
1:43:05	すぐについていうわけにはいかないと思うんですけれども、
1:43:09	シンプルに、以前あったのに、それを示していただくともうちょっとわかりやすいようになるところで確認をしている、そういった次第です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:22	辺見五十嵐です。はい。江藤。新しい災対の情報のフィードバックも含めると作業量含めて、
1:43:29	持ち帰って検討したいと思います
1:43:31	以上です。
1:43:37	はい。規制庁岩崎です。
1:43:40	他、何かございますでしょうか。
1:43:48	はい。
1:43:48	よろしいですかね。
1:43:51	はい、どうぞ。
1:43:54	次女ノダですけど、今のコメントに関連してもう少し、大所高所から申し上げると、
1:44:03	しかもそうだったんですけど一応我々有識者会合、
1:44:06	もう参考としてみないといけない。
1:44:09	もう参考データとして見ないといけないんですよ、いけないってこと、すみません規制委員会から指示されているので、我々それに沿って、志賀と同じように、星加だけじゃなくて他の、
1:44:20	医師記者会合の対象となった会社、
1:44:24	発電所化と同じような形で進めていくので当然有識者会合の報告書なんかも見てますしそれまでの御社が有識者会合で出された資料も見ています。
1:44:35	そういったものと見比べたときに、今例えば断面図の話、これ鉛直も水辺もそうだと思うんですけど、そういったものがなかったんで、確認を、
1:44:45	させてもらったんですけど、今の断面図だけの話なんですけど多分これから、
1:44:53	連続性、今の多分D案
1:44:56	トレンチ内のK断層の、
1:44:59	分布、連続性の話だったんですけど、活動性だってそうですし、連続性のところも多分同じような、
1:45:07	何ですかね、観点で見ますし、そういった意味で足りなければ、そういったことを事実確認させていただきますんで、念のため、事前にお伝えしておきます。以上です。
1:45:24	規制庁岩崎です。
1:45:28	よろしいですかね。
1:45:31	はい。
1:45:32	それではヒアリングについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:37	1、
1:45:45	ごめんなさい。少々お待ちください。今日のコメントの確認をしたいと思います。
1:47:38	これちょっとすいません今映しだしてるんで、ちょっとすいませんちょっと。
1:47:42	後、ご確認をいただきつつですね
1:47:53	定義、ちょっと何かあれば修正いたしますので、
1:56:38	規制庁岩崎です。それではですね本日の
1:56:42	敦賀2号のK断層に係る活動性のヒアリングを終了したいと思いますありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。